

2019年 10月 03日

泌尿器科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「経尿道的ホルミニウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP) の周術期における5 α 還元酵素阻害薬内服の有用性と安全性の検討」への協力をお願い

泌尿器科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2001年1月1日～2019年8月31日に当科において、前立腺肥大症に対し経尿道的ホルミニウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP)を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2021年3月31日

研究目的・方法：

当院で前立腺肥大症に対しHoLEPを施行した患者さんと、術前に5 α 還元酵素阻害薬を内服していた患者さんと（内服群）と内服していなかった患者さん（非内服群）を比較し、術中の出血量、手術時間、術後合併症、内服による合併症、排尿に与える影響などを比較、検討し有用性及び安全性を検討します。

研究に用いる試料・情報の種類：

患者さんの年齢、既往歴、内服薬、排尿方法、前立腺体積、血液検査（前立腺特異抗原、白血球数、ヘモグロビン、血小板数）、尿検査、尿流測定検査、尿流動態検査、IPSS (International prostate symptom score；国際前立腺症状スコア)、OABSS (Over Activity Bladder Symptom Score；過活動膀胱症状質問票)、手術時の出血量、前立腺核出重量、手術時間、術後合併症、5 α 還元酵素阻害薬内服による合併症の有無の情報を診療録より収集します。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して、新たに患者さんに行っていただくことはありませんし費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

電話番号 058-230-6338

氏名：飯沼 光司

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

氏名：飯沼 光司